

# 大学院学校教育研究科アドミッション・ポリシー

## 修士課程

### 【求める学生像】

学校教育研究科修士課程においては、多様化する教育課題の解決・改善に関して、広い視野から専門的な知見に基づき支援できる人材及び日本型教育システムを学び開発途上国の教育改善を支援する人材を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、教育課題の解決・改善に向けて、学校・地域（国際社会を含む）・家庭と連携・協働しながら主体的・創造的に取り組んでいこうとする意欲と、高度な専門的知識を探究する高度な研究能力と、その成果を社会に還元するとともに具体的な課題解決に結びつけていこうとする社会的実践力をもった、学校・地域の教育力の向上及び開発途上国の教育改善に積極的に関わる専門家になることを志向する者を基本に選抜します。

### 【入学者選抜の基本方針】

選抜者の判定は、各コース・分野・領域ごとに、筆記試験又は小論文、及び口述試験の成績の高得点者から行うことを原則とします。特に、志望するコース・分野・領域の専門的知識、研究テーマに関する基礎的知識及び専門職業人としての意欲・適性について審査します。

## 専門職学位課程

### 【求める学生像】

学校教育研究科専門職学位課程（教職大学院）においては、高度専門職業人として有すべき資質能力（教育実践力、自己教育力及び教職協働力）を備え、幅広い教育課題に対応したり、新しい教科実践の在り方を創造する教員を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、

1. これまでの教職経験を基盤にして、校内及び県内外の教科指導の中核的な役割を担うことを志向し、高度な実践力を修得しようとする現職教員  
(小・中・高等学校の教科指導をリードする教員及び指導主事の養成につながる現職教員)
  2. これまでの教職経験を基盤にして、校内及び県内外において、学校教育を俯瞰的に指導できる中核的な役割を担うことを志向し、高度な実践力を修得しようとする現職教員  
(学校園管理職、生徒指導、校内研修等をリードする教員及び指導主事、特別支援教育をリードする教員及び指導主事の養成につながる現職教員)
  3. 学部段階で培われた教科に関する専門性を基盤にして、教科指導における高い指導性を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者  
(主として、中・高等学校で活躍する教員の養成につながる者)
  4. 学部段階で培われた資質能力を基盤にして、教職に意欲的に取り組む態度、幅広い実践力を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者  
(幼稚園、小学校、特別支援学校等で活躍する教員の養成につながる者)
- を基本に選抜します。

### 【入学者選抜の基本方針】

選抜者の判定は、各コース・分野ごとに、筆記試験若しくは実技試験、又は小論文、及び口述試験の成績の高得点者から行うことを原則とします。特に志望するコース・分野の専門的知識、スキル、実践研究課題等に関する基礎的知識及び教員としての意欲・適性について審査します。